

日教弘

♥いわて

VOL.272

令和7年度夏秋号 2025.7.1 発行

「最終受益者は子どもたち」

公益認定を受け14年目を迎えた公益財団法人日本教育公務員弘済会は、青少年の健全な育成に資するため、有為の学生・生徒に対する奨学資金の貸与及び給付、教育一般の特に有益な研究に対する助成等を行い、教育、文化の向上、発展に寄与するとともに、教育関係者の福祉向上を図ることを目的としています。

この趣旨にご賛同をいただいた教育関係者から成る当会の会員は、現在、全国で76万人を超えています。

教育・校務のDX化等にも対応しながら “民による公益の増進”に寄与

令和7年度のスタートにあたり、岩手支部高等学校給付奨学生事業や研究助成金交付式でもご後援をいただいている岩手県教育委員会の佐藤一男教育長様を表敬訪問し、松村教育局長様、駒込教育次長様とともに当支部の事業概要の説明に熱心に耳を傾けていただきました。

岩手支部独自の教育振興事業である特別支援教育支援事業や給付奨学金事業など児童生徒の健全育成、学校教育への貢献に対する感謝の言葉も頂戴しましたし、これを励みとして「民による公益の増進」に寄与する公益財団法人としての使命を強く抱きながら今年度も事業推進してまいります。



駒込武志教育次長（左） 佐藤一男教育長（中央） 松村達教育局長（右）

“新たな時代のいわての教育”を側面から支える

明日を担う子どもたちの笑顔のために
(R6当支部事業より)



南
城
小
で
の
合
唱
指
導
(出前講座)



宮
古
恵
風
支
援
学
校
へ
太
鼓
の
バ
チ
を
届
け
る

公益財団法人
日本教育公務員弘済会岩手支部
(株)岩手教弘

〒020-0021

岩手県盛岡市中央通 3-3-1

電話 019-624-1508 (平日 9:00~16:45)

E-mail nk-iwate@hyper.ocn.ne.jp

HP <https://iwate-nikkyoko.sakura.ne.jp/>



菊池校長から校旗を受け取った中村茉莉那さん(盛岡南高出身生徒会長)と加藤宏道さん(不来方高出身生徒会長)

祝
令和7年4月開校
岩手県立南昌みらい高等学校
(校長 菊池勝彦先生)



村山校長から校旗を受け取る播磨星汰さん(野田校舎生徒会長)と稲葉天歩さん(門前校舎生徒会長)

祝
令和7年4月開校
岩手県立久慈翔北高等学校
(校長 村山薫美先生)

令和7年度 教育振興事業助成金交付式

6月2日（月）、サンセール盛岡において、今年度の岩手支部教育振興事業助成金交付式が行われました。

冒頭、昨年度の全国高等学校総合文化祭で文部科学大臣賞を受賞した盛岡第一高放送委員会の作品が紹介され、次に岩手県教育委員会からのご祝辞をいただいた後、各団体代表へ支部長から助成金交付書が手交されました。

その後、田村忠教育振興事業選考委員長からの講評、そして、最後に、助成を受けた団体を代表して、岩手県特別支援学校連絡協議会長の近藤健一校長先生から、「助成金により各部会等の活動が充実するとともに、特別支援教育への理解と期待の高まりを実感しています」という心のこもったご挨拶をいただきました。青少年の健全育成に資する当会の趣旨に沿って有効に活用いただき、子どもたちへの教育の充実に繋げていただくことを切に願っております。

助成（13団体） 教育団体研究	岩手県小学校長会、岩手県中学校長会、岩手県高等学校長協会、岩手県小中学校副校長会、岩手県高等学校副校長協議会、岩手県教職員組合、岩手県高等学校教職員組合（いわて教育文化研究所）、岩手県公立小中学校事務職員研究協議会、岩手県特別支援学校連絡協議会、岩手県特別支援教育研究会、岩手県小規模・複式学校教育研究連盟、岩手県学校保健会養護教諭部会、いわて教育の日推進協議会
研究大会助成 （6大会）	全国高等学校長協会家庭部会研究協議会岩手大会、全国理科教育大会岩手大会、全国工業高等学校長協会研究協議会岩手大会、東北六県高等学校長研究協議会、東北地区工業高等学校長会研究協議会、東北地区小学校特別活動研究協議会岩手大会
助成（5大会） 競技等大会開催	東北中学校体育大会〔バレーボール／剣道／スケート・アイスホッケー〕、東北六県高等学校ビジネス計算競技大会、高校生ものづくりコンテスト2025東北大会〔測量部門〕、岩手県中学校総合文化祭、「Try スポーツ」岩手県特別支援学校スポーツ交流会
助成 支部奨励	岩手県公立学校退職校長会



教育団体研究助成を受けられた団体の代表者



田村選考委員長からの講評



助成を受けた団体を代表してご挨拶いただいた県特別支援学校連絡協議会 近藤会長

～事業申請等のご案内～

事業名	申請時期等	備考
貸与奨学事業	2/1～6/3 ※既に終了	※令和8年度の募集は令和8年2月1日～
高等学校等給付奨学生	6/1～8/5（当日消印有効）	各校推薦原則2名まで
大学給付奨学生（予約型）	6/20～7/28（当日消印有効）	岩手県枠4名、学校推薦1名
校内研究助成	3/1～5月末日 ※既に終了	WEB申請・報告
教育実践研究論文	4/1～7/31（締切厳守）	メールに添付して提出
児童生徒大会助成	随時 ※大会開催の前日まで	WEB申請・報告 ※大会後の申請は不可
日教弘いわて出前講座	3/1～5/31 ※既に終了	
特別支援教育支援	7/1～9/30（締切厳守）	WEB申請・報告
へき地学校教育支援	4/1～5月末日 ※既に終了	
児童生徒文化・スポーツ顕彰	※事業実施3か月前まで	
令和8年度分	教育団体研究助成 研究大会助成 競技等大会開催助成 支部奨励助成 前年度申請（令和8年度分） 令和7年9月1日 ～令和7年12月20日	※申請についてのお問合せは、直接事務局へお電話願います。

※申請様式等は、日教弘岩手支部ホームページから最新のものをダウンロード願います。

第30回 日教弘教育賞（本県関係）

奨励賞【個人部門】

学校と地域をつないで、ともに子どもたちを育てる協働活動
～中学校区学校運営協議会と地域学校協働活動本部が連携した活動を通して～

宮古市立山口小学校 佐々木 良恵 地域学校協働活動推進員

地域学校協働活動推進員として、中学校区ごとに設置されている「学校運営協議会」と、各学校の「地域学校協働活動本部」の関わりを整理し、活動内容の工夫とその必要性についてまとめ、全国審査で奨励賞を受賞しました。

学校運営協議会で共有された学校や地域の課題解決に向けた意見をもとに、地域学校協働本部が中心となって実際の活動に落とし込みます。令和5年度は、中高生、短大生サポーターによる「夏休みおたすけルーム」、クリスマスコンサートでの「3校合同演奏」、各校の復興教育の成果を展示した「復興の現在地展」などを企画し、新たなボランティア活動の担い手の育成、児童生徒による地域活動への参加と学習成果の地域還元に取り組み、成果をあげています。



山口小校舎を活用しての
夏休み宿題おたすけルーム
（卒業生である中学生などが
進んでサポーター役として
協力してくれました。）

推進員が、情報を共有しながら連携して活動することで、新しい活動を効率よく進めることができるようになりました。佐々木推進員さんは、「将来を担う子どもたちを学校と地域が協働して育てることは、地域を愛しともに生きる未来の大人を育てることにつながる。そのために地域学校協働活動を有効に活用していきたい。」と語ってくれました。

地域とともにある学校づくりのモデルとなるような取組であり、他地区でも大いに参考となる実践です。



卒業生で地元の農家さんを講師に招いての体験学習「しいたけ原木に植菌」



地域や保護者の協力を得て運動会で伝統の「黒森神楽」披露する5、6年生



佐々木良恵推進員さんと
山火校長先生（受賞時）

日頃、工夫して実践されている教育の一端を、教育実践研究論文として発表してみませんか。
募集締切は、7月31日です。

- 【募集対象】 ①学校部門 ②個人部門
【応募要件】 ・未発表の内容のもの
【論文要領】 本文（24字×43行×2段組×A4判横書き（3～4ページ）
※HPから様式をダウンロードできます。
【募集期間】 令和7年4月1日～7月31日（必着）
【入賞】 最優秀賞、優秀賞、優良賞、奨励賞
※最優秀賞、優秀賞の中から要件適用となる3編以内を全国推薦
※詳細はホームページに掲載している応募要項でご確認ください。

【表彰】

- 最優秀賞 <学校・個人各1編以内>
学校部門（5万円）個人部門（3万円）
- 優秀賞 <学校・個人各2編以内>
学校部門（4万円）個人部門（2万円）
- 優良賞 <学校・個人各8編以内>
学校部門（3万円）個人部門（1万円）
- 奨励賞 <上記以外から数編>
図書カード（学校5千円分 個人3千円分）

特別支援教育支援事業の申請…7月1日から受付開始（7/1～9/30）

特別支援学校及び特別支援学級の教育活動（自立活動等）に必要な学習材（教材・実習材料・図書等）等の購入費を助成します。

- 【助成内容】 ア 特別支援学校助成（4校程度）…8万円上限
イ 特別支援学級助成（150校以内）…1万円上限

【募集期間】 令和7年7月1日～9月30日（必着）

※岩手支部ホームページ-教育文化事業のWEB申請フォームから申請してください。
※詳細は募集要項でご確認ください。



より多くの教職員の皆さんに「日教弘」を正しく理解いただき “たすけあいの輪”がさらに広がっていくことを願っています

Q (公財) 日教弘〈にっきょうこう〉とは、どんな法人ですか？

A 「公益財団法人日本教育公務員弘済会」という全国組織の法人の略称で、**青少年の健全な育成に資することを目的に**事業を行っています。高い公益性が認められ、平成24年に内閣府から公益認定を受け、14年目を迎えました。日教弘は各都道府県に支部がある全国組織で、弘済会と呼ばれることもあります。

(公財) 日教弘は、教育振興事業(公益目的事業)である「奨学事業」「教育研究助成事業」「教育文化事業」と「福祉事業」「共済事業」の5つの事業を柱に行われています。

修学意欲がありながら学資金の支弁困難な有為な学生・生徒に対する奨学資金の貸与及び給付や教育一般の特に有益な研究に対する助成等を行うとともに、教育、文化の向上、発展に寄与する事業や教育関係者である会員の福祉向上を図る事業を行いながら、日本の教育界に多大な貢献をしていることが認められています。

教職員の相互扶助を理念として開発された教弘保険の契約者配当金(契約者=理事長)を事業資金として、会員のご理解のもと教育振興事業に事業資金の60%以上を、福祉事業には20%以上を充てながら運営しています。

なお、共済事業で提携しているジブラルタ生命保険(株)の学校担当LC(ライフプランコンサルタント)は、専門性を活かし教育に携わる方やご家族に寄り添い、サポートする使命感をもって、学校等を訪問させていただいております。

Q 日教弘会員になれる人は？ どうすれば会員になれるの？

A 教育関係者(学校・教育委員会等に勤務)で、当会の趣旨(事業目的・事業内容)に賛同いただける方は会員になることができます。(会費は一切ありません)

現在、全国で75万人を超える会員の皆様(うち教弘保険加入者約51万人)に賛同をいただいています。

入会は、右のQRコードを読み込み、当会ホームページの方から入会申込みが出来ます。

お申込み後、確認ができ次第、会員証が送られます。



Q 日教弘会員になると、どんなメリットがあるの？

A 日教弘会員証には、日教弘クラブオフの利用証が付帯されており、国内外20万か所以上の施設やサービスで会員限定の優待サービスを利用できる福利厚生サービスを受けられます。



ご家族やご友人など同行者にも会員特典が適用



契約者配当金が教育振興事業に生かされ青少年の健全育成に貢献できます

学校・子どもたちのために

教職員の相互扶助の為に開発された“教弘保険”に加入できます

ご自身と大切なご家族のために

上記福利厚生サービスや教弘保険加入者は支部の各種福祉事業が受けられます

ご自身やご家族のために



2025 春

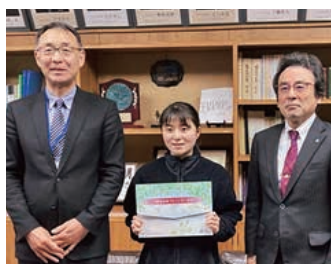
岩手の教職員としてスタートされた皆さんに、日教弘いわてからもエール



黒沢尻北高



上野中



松園中



釜石高



湯口小



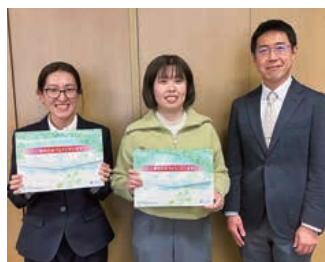
江釣子小



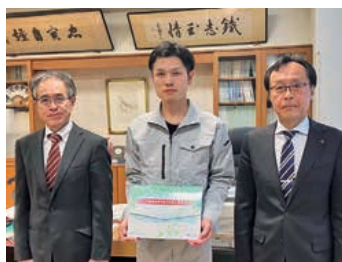
鬼柳小



下小路中



江刺第一中



盛岡第一高



盛岡・河南中



笹間第一小



矢沢中



盛岡峰南高等支援



盛岡聴覚支援



二子小



笠松小



津志田小



山王小



世田米小

今回掲載させていただいた学校以外にも、すべての学校からご配慮を賜り、快く、新採用祝贈呈の場をご設定いただきました。改めて、この紙面をもちまして御礼申し上げます。
これからも日教弘いわてグループは、教職員の皆さんの心強い応援団であり続けたいと願っています。

教職員相互の助け合いを目的に開発され、70年以上にわたる歴史を持つ共済制度です。

- 集団契約特約を付加することにより、**低廉な保険料**！
- 教職員の相互扶助を目的とした保険で、**保険料は年齢・性別にかかわらず一律**！
- 教弘会員として「各種祝金」「宿泊施設利用補助」など**特典を利用**！



22歳加入 → 保険料払込期間 (39歳まで) → 39歳加入 → 保険料払込期間 (65歳まで) → 65歳加入

- ユース教弘保険の保障期間は加入年齢により異なります。

<保険料例>

加入口数	10口	20口	30口	40口	50口
保 険 金 額	1,000万円	2,000万円	3,000万円	4,000万円	5,000万円
ユース教弘	1,513円	3,026円	4,539円	6,052円	7,565円
A型教弘	3,510円	7,020円	10,530円	14,040円	17,550円

弘済会を支えている
ユース教弘保険と新教弘保険

提携保険会社のジブラルタ生命保険会社から、毎年契約者配当金が弘済会に支払われるシステムになっています。この配当金が各教育現場の教育振興事業、福祉事業の資金となります。「ユース教弘保険・新教弘保険は日教弘の生命線」といわれる理由です。

万が一の場合、残された遺族の生活保障を柱としている掛け捨ての生命保険としてのユース教弘保険・新教弘保険ですが、医療や年金、試算形成等の教職員の生活のニーズに幅広く対応するさまざまな提携保険があります。

その他の提携保険

- **教弘冠保険**（教職員対象の提携保険）
 - ・ 新教弘医療保険α ・ 新教弘介護保障付終身保険 ・ 新教弘米国ドル建個人年金保険
 - ・ ファミリー教弘医療保険
- **付属保険**（ジブラルタ社の保険で日教弘が学校現場での募集を認めた保険）
 - ・ 変額保険【2024年10月から募集開始】 ・ ドル建介護保障付終身保険
 - ・ ドル建特定疾病保障終身保険 ・ ドル建リタイアメントインカム ・ 医療保険など（ドルは米国ドル）

- 詳しくは共済事業（提携保険事業）提携会社ジブラルタ生命の担当LC（ライフプラン・コンサルタント）にお問い合わせ下さい。
- ご契約にあたっては、必ずジブラルタ生命の「契約概要」「注意喚起情報」「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。
- 上記内容は2025年6月15日現在の内容です。

※共済事業に関するお問い合わせはジブラルタ生命保険株式会社 教職員専用ダイヤル **0120-37-9419**

公益財団法人日本教育公務員弘済会（略称（公財）日教弘）の教育振興事業（奨学事業、教育研究助成事業、教育文化事業）及び福祉事業は、教弘保険の契約者配当金により運営されており、日本の教育界に貢献しています。

令和7年度〈日教弘いわてグループ〉参事

参事 菅原 修悦



【担当】
県北地区（久慈、二戸）、
葛巻町、旧安代町 等

参事 佐藤 進



【担当】
盛岡・岩手地区、
西和賀町 等

参事 佐々木 哲也



【担当】
県南地区（いわい、胆江）、
北上市 等

参事 佐藤 和信



【担当】
宮古・下閉伊地区 等

参事 杉本 勉



【担当】
盛岡・紫波地区、
花巻地区 等

参事 佐々木 光男



【担当】
気仙・釜石地区、遠野、
一関一部 等

特任参事 佐藤 猛夫



【担当】
気仙・釜石地区、遠野、
一関一部 等

特任参事 古舘 英彦



【担当】
県北地区（久慈、二戸）、
葛巻町、旧安代町 等

青少年の健全育成に資するよう行われている日教弘事業について、ご理解・ご協力いただける方の輪がさらに広がっていくことを願い、私たち教職員OBで構成している参事が、各学校を訪問させていただいております。



教職員業務の遂行に起因した損害賠償請求に！

公益財団法人日本教育公務員弘済会 団体保険



2025年8月～2026年7月
加入のご案内

教弘まなびや〔教職員賠償責任保険〕

教職員個人が訴えられることも…

■授業中に生徒がケガ、
先生個人に損害賠償
請求。
損害賠償金 お見舞金

■生徒を注意したら
人格権の侵害と訴訟を
起こされる。
争訟費用 損害賠償金

■卒業アルバムの校正に誤り
があり、追加費用を負担した。
損失を補填する費用

1 教職員個人の争訟費用（弁護士費用等）
および損害賠償金を補償！

2 初期対応費用も補償！
（身体障害を被った被害者への見舞金等）

3 遡及補償 初年度加入日より前に行った行為
に起因する請求も補償！

4 延長補償 教職員でなくなった後になされた
請求についても5年間補償！

5 卒業アルバムの校正ミスなどの教職員業務で
個人が負担せざるを得なかった費用
を補償！

加入者（＝被保険者）資格について

（公益財団法人
日本教育公務員弘済会の会員で、以下に該当する方）
公立学校、国立学校および私立学校の教職員※

〔ご注意〕教育委員会・教育事務所の職員の方は、
被保険者になりません。

※「教職員」とは、学校教育法に規定する学校の校長および教
員ならびに部活動を指導する教育関係の職員等



もっと詳しい内容を
知りたい方は、
こちらのパンフレットを
ご覧ください

このご案内は、「教職員賠償責任保険」の概要について説明した
ものです。保険の内容は、パンフレットをご覧ください。詳細は
団体が保有する保険約款により、ご不明な点がございましたら、
代理店または引渡保険会社 東京海上日動火災保険㈱に
おたずねください。ご加入に際しては、必ず「重要事項説明書」
をよくお読みください。

自動更新 2025年8月1日始期

2025年8月1日午後4時～
2026年8月1日午後4時（1年間）

中途加入の
補償期間 毎月20日締切で、
締切日の翌月1日午前0時～2026年8月1日午後4時

募集期間 2025年6月1日（日）～2026年6月20日（土）

WEB 加入手続きは
こちらから

<https://www.nikkyoko.or.jp/index.html>



2025年2月作成 募集文書番号24T-002273

お問合せ先 （株）岩手教弘 電話 019-624-1590 平日9時～16時45分

令和7年度（公財）日教弘岩手支部 組織一覧

～明日を担う子どもたちの健全育成に資するよう、寄与・貢献～

（公財）日教弘岩手支部では、より適正かつ有益な事業執行となることを願い、
広く県内の教育関係機関・団体の代表者や有識者の方からのご意見をいただきながら運営しています。

【幹事会】

支 部 長	高橋 清之（元）岩手県中学校長会長
専任幹事 (副支部長)	佐藤 有（元）岩手県高等学校長協会会長
幹 事 (副支部長)	川村 憲弘【岩手県小学校長会】
幹 事	伊藤 兼士【岩手県教育委員会事務局】
幹 事	照井 英輝【岩手県中学校長会】
幹 事	中村 智和【岩手県高等学校長協会】
幹 事	近藤 健一【岩手県特別支援学校連絡協議会】
幹 事	佐藤 工【岩手県教職員組合】
幹 事	村上智加子【岩手県高等学校教職員組合】
幹 事	吉川 健次【岩手県公立学校退職校長会】
幹 事	鈴木 俊【岩手県高等学校長協会退職校長会】
幹 事	玉川 英喜【日本教育会岩手県支部】
監 査	鈴木 智香 有識者（富士大学教授）
監 査	佐野 理 有識者（盛岡教事・教育相談員）
顧 問	太田代政男（元）日教弘副理事長

【運営委員会】

運営委員	村田 浩隆【岩手県小学校長会】
運営委員	廣澤 正紀【岩手県中学校長会】
運営委員	菊池 省治【岩手県高等学校長協会】
運営委員	中野 真幸【岩手県特別支援学校連絡協議会】
運営委員	高橋 克典【岩手県教職員組合】
運営委員	柳田 陽一【岩手県高等学校教職員組合】
運営委員	菅原 修一【岩手県小中学校副校長会】
運営委員	高橋 健【岩手県高等学校副校長協議会】
運営委員	清水辺 誠【岩手県公立小中学校事務職員研究協議会】
運営委員	横沢 知幸【岩手県公立高等学校事務職員協会】
運営委員	藤澤 崇【紫波郡校長会】
運営委員	勝部 孝行【一関地方校長会】
運営委員	山蔭 深思【釜石地区小・中学校長会】
運営委員	筒井 裕一【二戸地区校長会】

【 】内は所属機関・団体

【教育振興事業 選考委員】

委 員 長	田村 忠 学識経験者（元岩手大学特命教授）
副委員長	高橋 一佳 学識経験者（県・学校教育参与）
選考委員	中村 宗宏 教育関係者（小学校長）
選考委員	熊谷 治久 教育関係者（中学校長）
支部担当	佐藤 有 専任幹事

【教育実践研究論文選考委員】

選考委員	阿部 真一 教育関係者（盛岡市教委・専門研究員）
選考委員	内村 弘子 学識経験者（元小・中学校長）
選考委員	和田 英 学識経験者（盛岡教事・教育相談員）
選考委員	中屋 豊 学識経験者（盛岡教事・在少指導員）

【友の会（シニア会員）運営委員会】 令和6～8年度

運営委員長	古舘 英彦	運 営 委 員	村田 和代
運営副委員長	村松 玲子	運 営 委 員	西郷 晃
運 営 委 員	南舘 秀昭	運 営 委 員	菅井 雅之
会 長	高橋 清之（支部長）	事 務 局 長	佐藤 有（専任幹事）

【参事】

参 事	佐々木哲也（元）県生涯学習推進センター所長	参 事	佐藤 進（元）岩手大教職大学院特命教授
参 事	佐藤 和信（元）宮古地区校長会副会長	参 事	菅原 修悦（元）二戸市校長会長
参 事	杉本 勉（元）盛岡市中学校長会長	特任参事	佐藤 猛夫（元）釜石市教委教育委員長
参 事	佐々木光男（元）県高等学校野球連盟会長	特任参事	古舘 英彦（元）一戸町教委教育長

【（公財）日教弘岩手支部事務局】

事務局長	小笠原芳子
課 長	中嶋富美子

【日教弘グループ（株）岩手教弘】

代表取締役	高橋 勉
課 長	藤田久美子
主 事	畠山 紗加